

# 日常生活用具の利用者負担が変わります

10月1日から日常生活用具の給付を受ける場合、費用の1割が利用者負担となり、負担の上限額は、1か月間に37,200円となります。

低所得者1及び低所得者2の人については、激変緩和措置として、利用者負担分を町が負担します。

※低所得1とは、住民税非課税世帯で、障害者本人の年収が80万円以下の世帯  
※低所得2とは、住民税非課税世帯で、低所得1以外の世帯

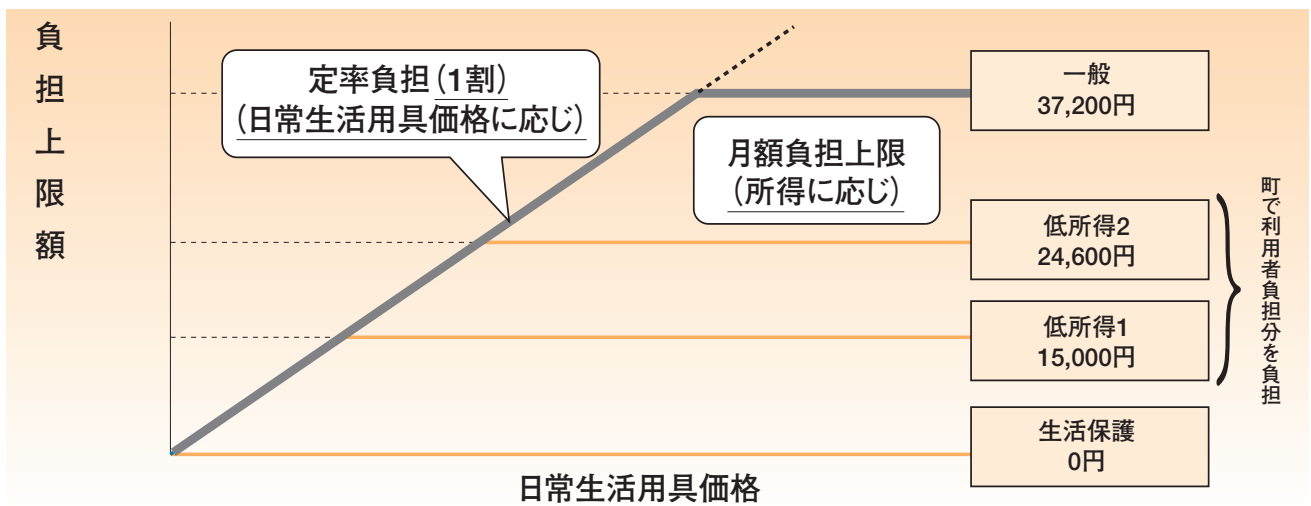
### 日常生活用具利用者負担の支払

- ①町へ支給申請をする
- ②町から交付される日常生活用具給付券を日常生活用具製作者業者に提示する
- ③日常生活用具購入（修理）費の利用者負担を支払う
- ④代理受領分支払請求書（兼代理受領に対する委任状）を日常生活用具製作者業者に提出

（※この書類に基づき、日常生活用具製作者は残り9割を町に請求）

### ▼問い合わせ先

健康福祉課 社会福祉係  
☎9128



## 主な日常生活道具

視覚障害者用活字文書読上げ装置	居室生活動作補助用具	電気式たん吸引器	聴覚障害者用情報受信装置	盲人用体重計	携帯用会話補助装置	聴覚障害者用通信装置	ネブライザー（吸入器）	移動用リフト	視覚障害者用拡大読書器	パーソナルコンピューター肢体不自由者用	聴覚障害者用屋内信号装置	視覚障害者用ワードプロセッサ	ストマ用器具	収尿器	体位変換器	入浴担架	盲人用音声式体温計	火災警報器	入浴補助用具	歩行補助杖	人工喉頭	点字タイプライター	頭部保護帽	特殊寝台	特殊便器	盲人用時計	視覚障害者用ポータブルレコーダー	手すり（便器に手すりを付けた場合）	便器
-----------------	------------	----------	--------------	--------	-----------	------------	-------------	--------	-------------	---------------------	--------------	----------------	--------	-----	-------	------	-----------	-------	--------	-------	------	-----------	-------	------	------	-------	------------------	-------------------	----

